

いのちに合掌

慈眼 JIGEN

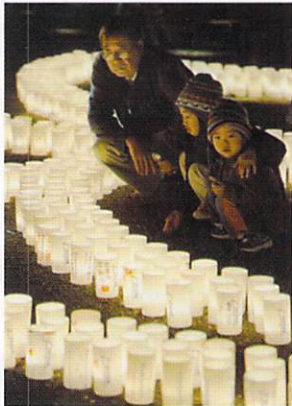
第38号

2面…日蓮宗の仏壇のまつり方
3面…意外に知らない
座布団のはなし
4面…福の神連合「七福神」

「慈眼」とは…
慈悲の心をもって衆生(生きとし生けるもの)を見る仏・菩薩(ぼさつ)の目。

●発行所：日蓮宗佐賀教化センター 佐賀市大和町梅野267-2 親正寺内 ●発行責任者：宝蔵寺学親 TEL 0952-62-0066

日蓮宗佐賀県宗務所ホームページ <http://nichiren-saga.jp/> **日蓮宗佐賀** 検索



近年来、未曾有の自然災害が日本国をはじめ、世界中に起こっております。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、最近、「爪痕が癒えぬうちにやって来る」状態です。これらの災害で多くの方が犠牲となり、目を覆いたくなる惨状がニュース等で流れる毎日。遺族が、犠牲となったご遺体の前にして嘆き悲しむ姿に、心を痛めている方も多しはげずです。



我が頭は父母の頭、
我が足は父母の足、
我が十指は父母の十指、
我が口は父母の口なり
—「忘持経事」より—

身体は尊い命を宿す所、 宿していた所

ところで、辞典を開いてみると、一つの言葉に正反対と思える意味が並び記されているのを発見して驚くことがあります。「遺体」という言葉もその一例です。普通に考えれば亡くなった人の身体、つまり「亡骸(なきがら)」を意味するところが常ですが、実は、「生きて自分の身体」を指す言葉でもあるのです。生きていくわが身を「遺体」というのは、「父母がこの世に遺(のこ)した身体」という意味合いがあります。私達のこの尊い命は、父母からの授

受け継いできたもの

かりもの、すなわち御先祖様からの授かりものという、畏れと感謝にじむ言葉でもあるのです。そう考えれば、死者の体も、生者の体も、ともに遺体と呼んで違和感はないはずです。私達の身体は尊い命を宿す所、宿していた所であるからこそ、生きていくときも、命つきた後も、遺体はこの上なく尊いのです。

日蓮大聖人は「忘持経事」というお手紙の中で「我が頭は父母の頭、我が足は父母の足、我が十指は父母の十指、我が口は父母の口なり」と教えられております。

大切だと頭の中では分かっている、日々の生活の中で自分自身の身体を傷つけている事が多くはないでしょうか。今一度思い返してみてください。私達がどれほど大切なこの生命を、不思議中の不思議な生命を先祖代々受け継いでいるかを。



日蓮宗の仏壇のまつり方

①ご本尊

日蓮宗のご本尊は久遠実成
本師釈迦牟尼仏です。中央
に大曼陀荼羅、その前に宗祖
日蓮大聖人像をお祀りしま
す。

②仏器・茶湯器

お仏飯、お茶、お湯、お水をお
供えする器です。朝のお参り
前にお供えしましょう。

③五具足または三具足

燭台・花瓶・香炉のことを三
具足と呼びます。五具足の場
合は燭台・花瓶が一對ずつに
なります。

④お位牌

故人の法号(戒名)やご命日
を記して、お仏壇におまつり
する、いわば故人の魂そのも
です。白木位牌は、四十九
日まで塗りの本位牌をつ
くり、忌明けからは本位牌を
お仏壇におまつりします。五
十回忌が過ぎたら祖霊に合
祀致します。本位牌を新たに
お仏壇におまつりする時は、
開眼法要といって、お寺のお
上人さまに入魂のお経をあ
げさせていただきます。

⑤過去帳と過去帳台

過去帳は、故人の
法号や俗名・ご命
日などを記してお
く記録帳です。

⑥木鉦または木魚

木鉦・木魚は、読経用の荘嚴具
です。

⑦前香炉

お線香立のことです。お線香
は、仏様の前に出るときに心身
とも清浄にするためのもので
す。少量でも、良質のものを使
いましょう。

⑧鈴

チーンと打ち鳴らすカネの音は
八万四千の仏の世界に届きま
すようにと念を込めて鳴らしま
す。また人々の邪念を払うと共
に、読経の時に打つ事が指示さ
れている重要な荘嚴具です。

⑨経机

お経の本や香炉あるいは鈴を
置く机のことです。

⑩霊膳

法要などで一汁二菜の精進料
理を仏さま・ご先祖さまにお供
えするときに使うものです。お
供えは生きている人と
同じように真心
込めて、お給仕し
ましょう。



●写真提供
(株)本庄仏具総本店



お仏壇は、皆さんそれぞれの鏡であり、
ご先祖様と魂の交流の場所であり、
法華経を信仰する私達の道場です。
お供えする花のように美しく、
誰もが安らぐお香の薫りのように、
清らかな水のような
心を持つ人になれるよう心がけましょう。

技術本位

佐賀の老舗

信用本位

辻の堂のぶつだんや

(株)本庄仏具総本店

〒840-0832 佐賀市堀川町(辻の堂) ●TEL0952-23-2955(代)

本下株式会社 草苑 OMEGA ALPHA SAAL

木下株式会社

| | |
|---|---|
| 北佐賀草苑 TEL 0952-30-4040 FAX 0952-30-4043 佐賀市兵庫町1115 | 南佐賀草苑 TEL 0952-25-1255 FAX 0952-25-1088 佐賀市本庄町本庄951-10 |
| 大和草苑 TEL 0952-64-8448 FAX 0952-64-8447 佐賀市大和町尼寺722-1 | 鳥栖草苑 TEL 0942-82-6430 FAX 0942-82-6502 鳥栖市古賀351-1 |

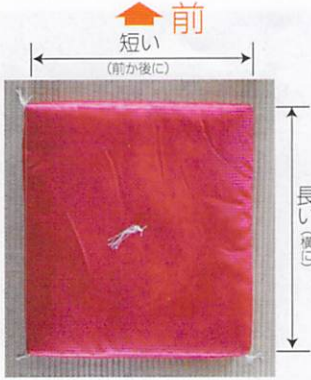
意外に知らない 座布団のはなし

我々日本人にとって普段からなじみ深い座布団。意識せずに使っていても、意外と知らないことがあります。そのいくつかをご紹介します。

座布団には前後があります

あまり知られていないのが、座布団にもちゃんと向きがあること。ほとんどの座布団は、よく見ると長方形をしています。

長い方が左右になり、短い方が前後になります。さらに、座布団の合わせ目をよく見ると、二方向は縫い目があるのに、一方だけ縫い目がない箇所があります。



この縫い目のない方が座布団の前になります。こちらを仏壇、もしくは相手に向けて敷くようにしましょう。ちなみに、座布団カバーをかけてある座布団の場合は、ファスナーのついてる方が後ろになります。

座布団には裏表があります

さらに、座布団には裏表もあります。中央部に房が出ている方が表(写真A)。留め糸だけの方が裏(写真B)になります。



ちなみに、この中央部の房を見ただけでも座布団の前後がわかります。房の糸は三点止めされていますが、その糸が一

点の方が前、二点の方が後ろになります。しかし、最近ではすべての座布団がこのようになってません。縦横の長さが等しいもの、四面ともに縫い目のあるもの、房がないものなど、前後裏表の区別のつかないものもあります。

座布団にまつわる作法

『座布団』にまつわる作法を集めてみました。

●客は、すすめられていないうちに座布団に座ってはいけません

座布団には、客を敬い、もてなすという意味があります。昔は極めて身分の高い人しか座布団を使えませんでした。すすめられてもいないうちに座布団に座るという行為は『さあ、俺をもてなせ』と云っているようなものです。

●座布団を足で踏んだり、上に立ってはいけません

客が座布団を踏むということ

も、相手のもてなしの心を踏みにじる行為であり大変失礼にあたります。

●挨拶は、座布団からおりて行いましょう

座布団の上に座っている時は、家の人の厚いおもてなしを受けている状態です。挨拶をする場合は、座布団を降りた方がよろしいでしょう。

●客は、座布団の位置を勝手に動かしたり、裏返ししたりしてはいけません

逆に言えば、客が座布団を動かすことができないので、家の人は客が座る位置を充分考慮して準備しなければなりません。

最後に・・・近年、和室を作らない世帯も増えてきました。そんななか次第に日本文化の基本である和室の心が忘れられてきています。座布団に込められている日本人のおもてなしの心を大切にしましょう。

平成24年度・創業90周年、仏壇・仏具の総合専門店

光古賀仏壇店

3代目 代表取締役社長 古賀宏昭

本社〒840-0813 TEL(0952) 23-5521
佐賀市唐人町1丁目2-25 FAX(0952) 23-5564



・仏壇 ・仏具 ・寺院用具
・修理全般 ・別注仏具工事一式

手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町10-12 23-4308
〒840-0824 ☎(0952)



① 恵比寿

恵比須は釣竿を持ち、鯛を抱えています。網を使って一気に漁をするのではなく、先を見越して竿で少しずつ釣りをすると、というわけです。そんな地道さが喜ばれ、恵比須は商売人の神様、商売繁盛の神様になりました。

② 弁財天

本来「弁才天」と書きますが、日本では財産の神としての性格が加わり、「才」が「財」の音に通じることから「弁財天」と書かれるようになりました。

③ 布袋

唐の時代に実在したとされる仏僧で、肥満体の布袋は広い度量や円満な人格、また富貴繁栄

七福神信仰は、室町時代末期頃の京都に始まったといわれています。

それまでの神様や仏様は、国や村の護国豊穰を願う対象でした。その後、家族や個人の幸せを願う福の神信仰が流行り始めました。それが七福神で御座います。

をつかさどるものと考えられ、所持品である袋は「堪忍袋」とも見なされるようになりまし

た。

④ 毘沙門天(多聞天)

仏教の世界では、護法神となり、四天王の一つとして、弥勒山に住み北方を守りました。右手の槍で怨敵(災害、仏教を弾圧する権力)を退治し、左手の宝珠で人々に福徳を与えてくれ、知恵の神様としても信仰されました。

⑤ 福祿寿

福祿人ともいいます。幸福と財産と長寿を兼ね備えるという中国の福神。短身長頭で経巻を結んだ杖(つえ)を持つ姿に表現されており

⑥ 寿老人

寿老人は白ひげを垂らし、杖を持ち、鹿を伴っています。寿老神とも書きます。長寿、富財、与宝、諸病平癒の神であります。また、人々の安全と健康を守ります。

⑦ 大黒天(大古久天)

大黒様は、平安時代に日本へ伝えられた神様です。その姿は、福徳円満の微笑を浮かべ、頭には頭巾、左手には袋、右手には小槌を持ち、米俵の上に立っておられます。枡は宇宙界を表し、小槌、袋、俵は福(心の幸せ)・禄(金銭の満足)・寿(長寿と健康)の宝を示しています。



仏法を護り、福徳を給う神様として敬われ、福徳円満自在菩薩の化身と説かれています。

日蓮大聖人は、文永七年に書かれた「真間釈迦佛御供養逐状」というお手紙の中で、大黒天を福の神として供養することを勧められています。

以後、日蓮宗では沢山の檀信徒の皆様が、法華經の守護神として祀られるようになりました。



設計

石の雅

施工

www.ishinomiyabi.jp

平川石材店

小城町上町 ☎73-4738

石材・墓石に関することは、すべてお任せ下さい。

総合葬祭 株式会社 黄城

葬祭会館 光雲閣

〒845-0022

佐賀県小城市三日月町久米 2134-1 (JR小城駅西)

黄城代表番号 ☎(0952)-73-4738

光雲閣 ☎(0952)-73-4020